

大石だより

第50号

☆★
1面 就労継続支援B型管理者挨拶
☆★
2面 G H 主任挨拶
☆★
3面 行事写真
☆★
4面 活動状況
☆★
決算報告他

余炎が残る大石の里

就労継続支援B型事業所 大石の里

管理者 大井宏征

お盆が過ぎ8月も終わりを迎えようとしています。今年の夏も昨年に引き続き災害級の厳しい暑さになることを想定し、熱中症警戒アラートや冷房の活用等の熱中症予防の対策を講じ臨みました。7月、8月とも日中の暑さの厳しい日はあったものの、昨年に比べ夜の寝苦しさを感じる日は少なく、朝方は涼しさを感ずることもありました。体調を崩す利用者・職員もなく、ここ大石の里では過ごしやすいうちだったのではないかと思っております。

今年度に入り八戸市を中心とした震度5強、震度6弱の2度の地震があり、7月には熊本県で震度7の大規模地震が発生し、人的及び住宅被害、ガス爆発による二次被害、そして千葉県での大雨による被害と人々の生活をおびやかす災害はここ数年、後を絶たない状況です。一日も早く平穏な生活に戻られる事を切に願うものであります。当事業所では、災害発生及びその後の業務継続に向けた訓練や備蓄品等の準備をしています。100%完全な備えはないと思っております。これまでの災害を教訓に、利用者・職員の安全を確保できる行動がとれる様、最善の備えに取り組むことが必要と感じています。

今年も「熊」の出没が大きな話題となっていますが、大石の里周辺でも目撃情報があり、畑作業の前には花火を打ち上げ、爆竹をならし、また、作業中はラジオをかけ、鈴をつける等の対策をとりながら作業をしております。注意をはらいながらの畑作業ですが、春から育ててきたブルーベリー、じゃが芋の収穫を終え、これからは、ミョウガ、さつま芋、かぼちゃの収穫を迎えます。収穫後は、つがる市農産物直売所等にて販売する他、自社商品の加工原料として使用します。農産物としてまた、加工商品として購入いただければ幸いです。

私たちの生活は日々「災害」「危険」等と向き合っているがらの営みですが、日頃からの備えを心がけ、安心して生活できる事業所とする様努めてまいります。

大石の夏

「暑さ寒さも彼岸まで」とは言いますが、日中はまだまだ暑い日が続いております。当事業所の周辺では夕方から晩に掛け、秋の虫の鳴き声も聞こえ、涼しさも感じるようになり、秋を感じる季節になってきました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

今年は昨年と異なり、夜間は日中に比べ、涼しい日が続いていたように思われますが、夜間寝苦しい日は暫しありました。グループホームではホールにエアコンを設置してありますが、居室には設置しておりません。そのため、利用者の皆さんは窓を開け、扇風機等で暑さをしのいでいます。ただ室温もなかなか下がらず、寝苦しいという方もいらっしゃいます。そこで、ホールに畳を敷き「就寝スペース」を作り利用者の方の希望があればホールでの就寝を推奨しています。今夏もホールを利用して、就寝される方がいらっしゃいました。また、お盆等はご自宅への帰省が難しい方もいらっしゃる為、お盆を感じる事ができるようなご馳走を振る舞ったり、気分転換にドライブへ出かけたり、手持ち花火を一緒に楽しんだり、些細なことではありますが、利用者の皆さんが少しでも夏を感じていただけたようなプチイベントを企画しました。皆さんから笑顔も見られ、喜ばれていただけましたように思われます。

このように、ここが利用者の方にとつての安らげる生活の場であるよう、これからもおもてなしの心で支援していきたいと思っております。今後も益々のご支援、ご協力を賜わりますよう、よろしくお願い申し上げます。

グループホーム 大石の里 主任生活支援員

三上 晃路



グループホーム

花火を楽しもう

8月16日 グループホーム玄関前にて利用者の皆さんに手持ち花火を楽しんで頂きました。



6月に弘前市の花火大会見物に出かけ、壮大な花火を楽しんで頂きましたが、手持ち花火もまた趣があり、皆さん暗闇を染める色とりどりの花火を、食い入るように見つめておりました。

就労B型作業

包装紙の活用

ギフト商品を包装する用紙を箱に合わせ、カットすると、どうしても切れ端がでてしまいます。箱のサイズによつてはそれなりの大きさが余つてしまい、もったいないのです。そこで、商品を入れることのできる『袋』を作ってみました。利用者さんや職員が商品を買った際に使用できる、小さな紙袋です。重すぎると破損してしまいますが、パウンドケーキ1個や丸型のケーキを数個なら丁度よいサイズです。

折る・糊付けする・合わせる・地味な作業ではありますが、出来上がったものはしっかり役立ってくれる優れもの。一人で作るには難しい箇所もあるので、二人で協力して製作しています。



その他、納品書等を入れる封筒も作っています。今後、イベントの販売等で使用するために地道にコツコツと取り組んでまいります。

一般財団法人双仁会 厚生看護専門学校 看護学科の生徒さんが弊施設に学びにいらっしゃいました。実習レポートの一部をご紹介します！



●地域精神保健福祉活動の連携と看護の役割について

精神疾患のある人が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるように、多職種や関係機関が連携して支援を行うことが重要となる。看護師は健康管理や精神的支援を行い、利用者や家族に寄り添いながら関係機関との橋渡し役を担う

●利用者を支える、家族への支援のあり方について

施設では、利用者にトラブルや体調変化があった際には、その都度家族へ電話で状況を報告し情報共有を行っていることを学んだ。ただ伝えるだけではなく、利用者を中心として職員と家族が同じ目的をもって支援するために欠かせないものであると考えた。

●利用者の社会復帰の場について

就労継続支援B型事業所において、社会復帰は就労だけを目的とするのではなく、安心して過ごせる居場所や役割を持ちながら地域で生活していくことが重要であり、そのために利用者の強みを活かしながら継続的に支援していくことを学んだ。

6/20 古都ひろさき 花火の集い

7/20 ドライブに行こう
in はまなす公園

「海の日」なので
海へドライブ 🚗

曇り空でしたが
気分転換になりました！



少し早い時間から待機!!
ワクワクしながらその時
を待つ...

わあー!
昨年よりキレイに見え
ました

8/1 弘前ねぶたまつり 見物



今年は出発地点で
見物！小雨の中でも
しっかり見る事ができ
ました

7/25 岩木夏まつり 見物



お山参詣、よさこい
ソーラン、一輪車演舞、
ねぶた運行やサンバ
など、たくさん見物し
ました



利用者レク

ある日の日曜日。
施設内で輪投げ・卓球・ジエンガ・オセロ・カード
ゲームで脳や体の機能を維持しながら気分転換



《法人単位》 資金収支計算書 （自）令和7年4月1日（至）令和8年3月31日		社会福祉法人みやぎ会
	勘定科目	金額
事業活動による収支	事業活動収入計 ①	4,866,711,041
	事業活動支出計 ②	4,649,373,213
	事業活動資金収支差額③(①-②)	217,337,828
施設整備等による収支	施設整備等収入計 ④	23,658,093
	施設整備等支出計 ⑤	256,874,424
	施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	△ 233,216,331
その他の活動による収支	その他の活動による収入計 ⑦	3,711,690
	その他の活動による支出計 ⑧	44,512,486
	その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	△ 40,800,796
当期資金収支差額合計 ⑪(③+⑥+⑨)		△ 56,679,299
前期末支払資金残高 ⑫		2,982,873,867
当期末払資金残高 ⑬(⑪+⑫)		2,926,194,568

《法人単位》 事業活動収支計算書 (自)令和7年4月1日(至)令和8年3月31日		
	勘定科目	金額
サービス活動増減の部	サービス活動収益計 ①	4,842,068,403
	サービス活動費用計 ②	4,803,658,975
	サービス活動増減差額③(①-②)	38,409,428
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計 ④	24,455,834
	サービス活動外費用計 ⑤	43,040,784
	サービス活動外増減差額⑥(④-⑤)	△ 18,584,950
経常活動増減差額 ⑦(③+⑥)		19,824,478
特別増減の部	特別収益計 ⑧	24,184,658
	特別費用計 ⑨	29,810,136
	特別増減差額 ⑩(⑧-⑨)	△ 5,625,478
税引前当期活動増減差額 ⑪(⑦+⑩)		14,199,000
法人税、住民税及び事業税 ⑫		0
法人税等調整額 ⑬		0
当期活動増減差額 ⑭(⑪-⑫-⑬)		14,199,000
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 ⑮	4,715,922,156
	当期末繰越活動増減差額 ⑯(⑭+⑮)	4,730,121,156
	基本金取崩額 ⑰	0
	その他の積立金取崩額 ⑱	0
	その他の積立金積立額 ⑲	0
時期繰越活動増減差額 ⑳(⑯+⑰+⑱-⑲)		4,730,121,156

《編集後記》

広報誌「大石だより」が記念すべき50号を迎えました。次の50号に向けて、今後も所内の多様な情報を紹介していきたいと思っております。秋の行楽の季節が近づいておりますが、まだ暑い日が続くようですのでどうぞご自愛くださいませ。



《ご意見・ご感想・お問い合わせ》

社会福祉法人みやぎ会 大石の里
住 所：青森県弘前市大字百沢字東岩木山3138-2
電 話：0172-93-2110
F A X：0172-93-2220
アドレス：oosi-jusan@sg-miyagakai.or.jp
機関紙名：大石より 第50号
発 行 人：社会福祉法人みやぎ会 大石の里
編 集 員：生活広報委員会



大石の里では毎朝、SGグループの
理念を唱和し、業務に取り組んでいます。

《SGグループ理念》

私たちエスジーグループは、
 ホスピタル精神（おもてなし）をもち、
 医療・福祉・保健を通じて
 地域社会の人々の幸せに貢献します。
 患者・利用者・ご家族に喜ばれ
 感謝される素晴らしいホスピタル環境づくりと
 ホスピタリティある仕事を徹底しておこないます。

